

「妙見宮祭礼絵巻」

江戸時代のまつりが蘇る

もうすぐ妙見祭。ユネスコ無形文化遺産登録をひかえ、今年は何年以上の盛り上がりを見せています。国指定名勝・松浜軒の松井文庫展示場でも、妙見祭を描いた絵巻が展示されています。

総延長40メートルを越える紙面には、獅子を先頭に、飾馬、神輿、笠鉾などが、動画のように次々とあらわれます。その特徴は、例えば笠鉾の飾り窓の模様まで描きだす細やかさや人物の表情まで描き分ける確かな画技があることに加え、行列の出しものを漏れなく描くことによる「記録性」が備わっているということです。



(写真) 妙見宮祭礼絵巻より

本作は、松井家に仕えた絵師・青井郷秀が、弘化3年(1846年)に描いたものですが、近年、郷秀が手本としたオリジナルの絵巻があることが判明しました。その絵巻は、郷秀の師であり、細川藩の御用絵師・矢野派の一翼を担う甲斐良郷が描いたもので、約200年前の盛大な妙見祭の様子を克明に伝える貴重な作品です(現在八代神社所蔵)。

いずれも松井家当主の依頼で作成されたものと思われ、妙見祭に寄せる松井家の「想い」が伝わります。

(博物館学芸員 石原浩)

【展示案内】

企画展 「妙見宮祭礼絵巻」
／松井家の茶道具

会期 開催中(平成29年1月末
午前9時～午後5時

※入園は午後4時30分まで

会場 松浜軒

閉園日 毎週月曜日(祝日の場合はそ
の翌日、年末年始)

観覧料 一般 500円

小学生 250円

問合せ 松浜軒／松井文庫

☎330171

鏡文化センター自主文化事業(共催事業)

八神純子コンサート There you are ～キミの街へ～



と き 平成29年**1月15日(日)**

開演:午後3時、開場:午後2時30分

ところ **鏡文化センター**

入場券(全席指定) 未就学児入場不可

前売り 4,000円、当日 4,500円

※完売の場合、当日券の販売はありません。

発売日 11月8日(火)の午前10時から窓口で販売。

電話受付は同日午後1時からです。

プレイガイド 厚生会館 ☎32-3196

千丁文化センター ☎46-1888

鏡文化センター ☎52-1114

※千丁・鏡文化センターでは、土日・

祝日の販売はありません。

主催 ハンプトンジャパン、八代市

問合せ 鏡文化センター ☎52-1114